

平成29年度総合教育会議の協議結果に基づく取組の進捗状況（報告）

○平成29年度の主要テーマ

子どもたちが困難を乗り越えて生きていくための力の育成
～『不登校』に焦点を当てて～

○協議結果を受けて今後県が取り組んでいく施策の方向性

- ①「不登校対策支援チーム」の設置
- ②千葉県版不登校対策指導資料集」の作成と同資料集を活用した支援
- ③スクールソーシャルワーカー及びスクールカウンセラーの配置の充実
- ④不登校を生まない魅力ある学校づくりの推進
- ⑤不登校の児童生徒及び保護者に対する相談体制の充実
- ⑥不登校の児童生徒が学び直しのできる環境の整備
- ⑦多様な機関・関係者との連携による支援の充実

○施策に基づいた取組の進捗状況

- (1) 不登校対策支援チームの設置（施策の方向性①）【新規】 7,193千円

不登校児童生徒に、より適切な支援を行い、現在取り組んでいる不登校対策の一層の充実を図るため、スクールソーシャルワーカースーパーバイザー、スクールカウンセラースーパーバイザー、不登校対策専門指導員、指導主事からなる「不登校対策支援チーム」を平成30年4月5日に発足した。

4月、5月は関係機関への説明や各種研修において周知を図った。6月より県内市町村や私立学校からの要請を受け、不登校に関する研修で講師を務めたり、具体的な事例についてのケース会議にて助言を行っている。

不登校の長期化等により解消が困難なケースに関して 不登校支援関係者による連絡会議等で情報収集するとともに、支援対応策について検討し、助言・支援・指導に当たっている。



- (2) 「千葉県版不登校対策指導資料集」の作成と配付（施策の方向性②）

不登校の未然防止、初期対応、自立支援に対する具体的事例等を取りまとめた資料集を作成し、平成30年3月には冊子版を県内の小・中・高・特別支援学校等に配付した。

- (3) スクールソーシャルワーカーの配置（施策の方向性③） 54,149千円

問題解決に向けて福祉機関等との連携や、学校・家庭環境への働きかけを行うスクールソーシャルワーカーの配置を充実した。

小中学校12校+3校計15校、高校4校+7校計11校、総計26名（H30年度10名増員）

- (4) スクールカウンセラーの配置（施策の方向性③） 603,484千円

児童生徒のカウンセリングや教職員・保護者等への助言・援助を行うスクールカウンセラーの配置を充実した。

小学校140校+10校計150校、中学校（義務教育学校2校を含む）全324校、高校80校、教育事務所6ヶ所11名、総計565名（H30年度10名増員）